

# 稲田の子

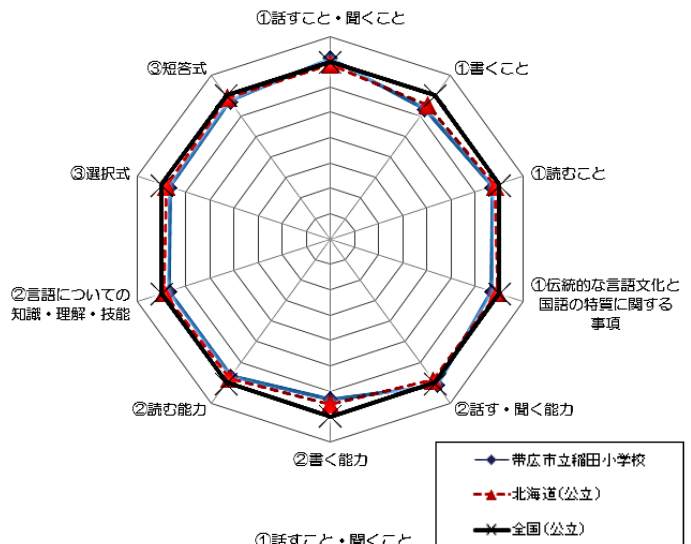
## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果より ～ その1

全国の小学校6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果や分析された傾向については、既に報道等でもご存知の通りですが、過日帯広市の分析結果が発表され、新聞報道や市のホームページなどでも公表されました。これを受け、本校の結果や傾向についてお知らせします。まず、調査が行われた国語と算数の傾向と今後の対策についてです。

### <国語A> 基礎・基本の定着を調べる問題

☆ 全体的な正答率は、全国平均を下回っている。しかし、どの項目も平均に近づいており、基礎的な国語の力は定着しているといえます。

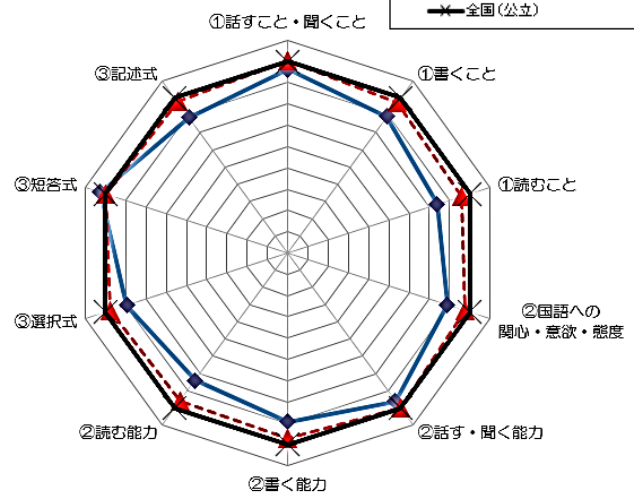
- 話す・聴く力はどの項目でも全国を上回り、特に力がついています。
- 書く能力についての項目が全国との差が大きく、課題が見られます。



### <国語B> 知識技能を活用する応用問題

☆ 正答率は全道、全国平均を下回っています。

- 短答式の問題では、全国を上回っており、短答式の問題は得意な傾向にあります。
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える問題に課題が見られます。
- 物語を読み、自分の考えを広げたり、まとめたりする学習に課題がみられます。

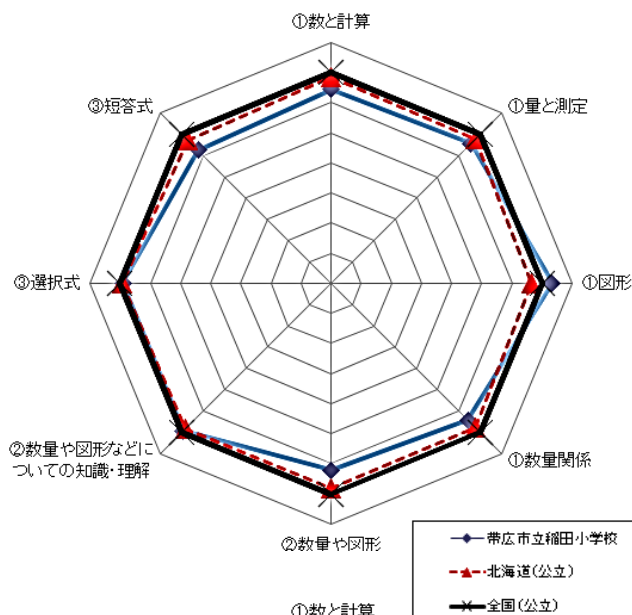


### 改善に向けて<国語>

- ◆ 漢字の『書き』の正答率を増やすため、朝学習や宿題など利用して、くり返し学習できるように引き続き取り組んでいきます。また、同音異義語の間違ひも多かったので語彙を増やせるよう、国語辞典なども学習に取り入れ指導していきます。
- ◆ 答え方に条件がある問題に苦手傾向があるので、普段から字数や時間の制限をしながら、自分の意見や学習のまとめなどの文章を書けるような指導を進めます。
- ◆ 作文やスピーチ活動では、組み立てのメモなどを生かして文を作るなどして、資料を活用したり、大事なところを整理・要約できる力を他学年の発達段階をふまえて充実していきます。

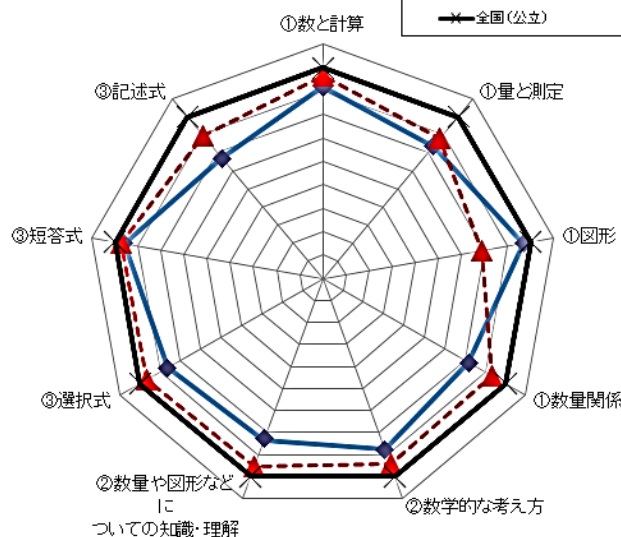
### <算数A> 基礎・基本の定着を調べる問題

- ☆ 全体的な正答率は、全国平均を下回っているがおおむね平均に近づいており、基礎的な力は定着しているといえます。
- 整数の乗法の学習の平均は全国を上回っており、基本的な計算の力がついています。
- 商を分数で表す方法や二次元表の問題の差が全校平均より下回っていて大きな課題となっています。



### <算数B> 知識技能を活用する応用問題

- ☆ 正答率は全道、全国平均を下回っています。
- 算数Aと同じく図形の領域で正答率が全道を上回っており、応用の問題でも力を発揮しています。
- 人数の割合を表すグラフを選ぶ問題では、特に全国との差が大きかったです。
- 割合を基に比較量を判断し、その理由を記述する問題は特に正答率が低かったです。



### 改善に向けて<算数>

- ◆ 二次元表は4年生の学習で、それ以降なかなか触れることのない表です。どの学年においても内容がしっかり定着するよう、宿題などで繰り返し学習していきます。
- ◆ 記述の問題の正答率が低かったことから、日頃から「応用」の問題に取り組み、じっくり問題文に向き合う機会を設けていきます。
- ◆ 朝学習の『つく指導』時に計画的に取り組むなどして、答え合わせの際に解説するなど長い目でみた取組が必要です。
- ◆ 校内研修とのつながり深め、言語活動を通して応用の問題にも適応できる力を育てていきます。
- ◆ 普段から色々な教科で資料やメモを活用して、問題を解決したりまとめたりする学習を行っていきます。

### ◎全体を通して

全体的に、全国の学力を下回る結果となりました。全国学力・学習状況調査以降、算数などは宿題や朝学習などで練習しています。また、今後も問題の直しを進め、力の定着を確認していきます。

※児童質問紙の状況については、その2でお知らせします。

## ふれあい美術館開館 『南町中学校作品展』

今年度のふれあい美術館の第1弾として、南町中学校の作品展を行っています。中学生の素晴らしい美術作品を掲示しています。美術部の生徒による油絵の作品もあります。ご来校の際には、ぜひお立ち寄りください。(校舎3階 ふれあい美術館)